

物理的防除（害虫発生源樹木の撤去）

自治体・業者名 神奈川県相模原市

相模原市の住宅地を通る緑道の植栽は過密になっており、チャドクガが頻繁に発生することから、多くの苦情が寄せられた。これまでは農薬散布による事後対応を行ってきたが、住民合意の下、伐採を実施し、過密植栽を解消した。

取り組みの概要

【防除対象場所】市内緑道

- ・距離 約1.6km
- ・主な樹種 ツツジ類、ツバキ・サザンカ、キンモクセイなど

◎チャドクガ発生源樹木の撤去

- ・ツバキ、サザンカ類が多く植栽されていることからチャドクガが頻繁に発生しており、これまでは農薬で駆除していたが、抜け殻や落下した虫が駆除後も大量に残り、かぶれ被害が発生することから対応に苦慮してきた。
- ・このため、主に6～8月にかけて、ツバキ・サザンカ約40本ほどの伐採を実施した。
- ・伐採によりチャドクガの発生場所を除去するとともに、過密状態が解消され、風通しも改善された。

◎その他の害虫への対応

- ・チャドクガ以外の人に危害を加えない害虫の場合も、大規模発生時以外は薬剤散布はせず、被害枝の切除や経過観察を実施している。



撤去前



撤去後

取り組みによる効果

- ・チャドクガのリスクが激減し、沿道住民からも喜ばれている。
- ・植栽管理をする業者はこれまで、剪定時にかぶれ被害にあったが、被害がなくなった。

今後の課題

- ・自宅前の緑道の植栽では、自ら剪定管理するなど樹木に愛着を持ち、伐採には抵抗感を持つ住民の方がいることから、状況に応じた対応が必要である。

担当者からのメッセージ

- ・自治会や近隣住民、特に伐採対象樹木の目の前にお住まいの方に対し、伐採してもよいか確認が必要です。ツバキ・サザンカはきれいな花を咲かせる花木でもあり、花を楽しみにしている方や植栽を目隠しとして利用している方もいらっしゃいます。
- ・今回は、沿道住民が毎年のように毛虫の被害に悩まされていたことから、ほぼ全員の方から伐採賛成の意見を頂いて、その後の苦情等も皆無でした。

物理的防除（剪定）

自治体・業者名 長野県須坂市

須坂市では、市内の都市公園等をまちづくり課が直営で管理しており、職員による日常点検時に樹木等も観察し、病害虫の早期発見を行っている。

病害虫発生時は、徹底した剪定・切除という物理的手法での対応を行い、住宅地周辺の公園での農薬を使わない防除に努めている。

取り組みの概要

【防除対象場所】都市公園

・面積 16公園 計35ha

◎早期発見の取り組み

・月1回の職員による遊具点検時に樹木等も観察し、「日常点検表」に記録している。

◎物理的防除

- ・公園の周辺には住宅があることから、病害虫が発生した場合には、早期に病害部分の枝葉の剪定や高枝バサミでの切除等を行うことで、農薬をできるだけ使用しないように管理している。
- ・雑草防除についても、除草剤を使用せず、刈払機での除草を中心に実施している。
- ・病害虫がなるべく発生しないよう、風通しを良くするなど樹木の剪定を適期に実施している。
- ・剪定作業の前にはお知らせのチラシを配布している。

日常点検表

年度	前期	公園名	〇〇公園
公園全体			
部 位	重要度	点検内容	
A 共通点検項目			4/
① 植栽	○	枯れ木、枯れ枝(腐朽、キノコ着生)などはないか	
	○	隣地への越境枝、越境のおそれのある枝はないか	
	○	電柱、電線などにかかっている枝はないか	
	○	害虫(アメシロ、シバムシなど)の発生はないか	
② 園路、広場	○	段差、陥没、亀裂などはないか	
	○	石やガラス片など危険物が落ちていないか	
	○	雑草の生え具合はどうか	

剪定のお知らせ！

日時:8月1日(木) 昼間

駐車場と公園の境の垣根の剪定を実施します。

南側は低い垣根の剪定をします。

当日、車を停める場合は、多少、前より停めてください。

まちづくり課(TEL248-9007)



剪定前



剪定作業中



剪定後

取り組みによる効果

- ・早期発見および捕殺により害虫が広がることを防いでいる。
- ・農薬を散布しないため公園利用者からの問い合わせ、近隣住民からの苦情が減少している。

今後の課題

- ・大量発生した場合は捕殺で駆除できない。
- ・農薬散布に比べ手間がかかるとともに、樹木の剪定費用がかかる。

物理的防除 (こまめな除草・剪定・捕殺等)

自治体・業者名 愛知県（指定管理者：岩間造園株式会社）

愛知県内の公園の指定管理者である岩間造園（株）では、病虫害防除や除草に当たっては、「公園マニュアル」を遵守するよう職員に徹底しており、平成23年度からは、公園利用者や周辺住民への環境や健康に配慮し、農薬をできるだけ使用しない公園管理を行っている。このため、病虫害の早期発見に努めるとともに、徹底した除草や通風環境を改善するための剪定等の病虫害被害の未然防止策を講じている。

取り組みの 概要

【防除対象場所】 愛知県営熱田神宮公園

・面積 約1.1ha

◎雑草管理

・草地・芝地

ー雑草の開花・結実状況を観察し、こまめな草刈り作業を行うことにより開花・結実しないようにする。

草地（0.45ha）月1～2回の草刈りを実施。

人数：2～3名、時期：4～11月

芝地（0.65ha）月3～4回の草刈りを実施。

人数：1～2名、時期：4～11月

・花壇等

ーボランティアの市民と協働で管理し、抜き取り除草、植え替えを実施。除草は月1回程度、3～6人で実施。除草鎌により、雑草の根株を残さないよう、根の周りを掘起こし、根から抜き取る。



種を落とさないためのこまめな草刈り作業



花壇の抜き取り除草作業



樹木剪定作業

◎病害虫防除

- ・面積 7.6ha
- ・早期発見・捕殺
 - 一病害虫が発生する時期及び発生しやすい樹木を事前に把握し、毎朝の巡回時に発生状況を確認。
 - 一発見したら、その都度捕殺。
- ・剪定による通風の改善・確保
 - 一中低木の樹種により2～3人で年1～2回の剪定を実施。

取り組みによる 効果と課題

- ・早期発見、捕殺により害虫、病気の被害の拡大防ぐことができるが、大量発生した場合は捕殺のみでは駆除できない。

物理的防除（剪定）

自治体・業者名 茨城県牛久市

牛久市では、公園の近隣住民からの相談を受け、農薬散布以外の方法での防除を検討した。その結果、職員の公園清掃時を活用し、早期発見、即時除去の対応を取ることとしている。

取り組みの 概要

【防除対象場所】 柏田第3街区公園

- ・主な樹種と本数 ツバキ、サザンカ10本

◎早期発見

- ・孵化直後の早期発見ができるよう、発生時期（5～6月、9～10月）に植栽管理委託業者及び市職員が公園のトイレ清掃に合わせて週に2回巡回している。

◎即時除去

- ・ツバキ・サザンカ等にチャドクガの幼虫等の発生が認められた場合には、分散する前に枝葉を剪定し、除去している。

取り組みに よる効果

- ・早期発見、即時除去に努めているため、相談者の不安や公園利用者の不快感もなく防除できている。

今後の課題

- ・発見が遅れたり、見落として分散してしまった場合の対応が問題である。
- ・規模の小さな公園での取組事例であり、頻繁に見回りをを行い対応することが可能であるが、広範囲になると対応が困難になると思われる。



物理的防除 (粘着シート被覆・捕殺)

自治体・業者名 兵庫県立一庫公園（指定管理者：兵庫県園芸・公園協会）

兵庫県立一庫公園は、生活用水を供給する一庫ダムによるダム湖（知明湖）を中心とした公園であり、園内の樹木の防除によるダムへの農薬の流入を防ぐ必要があることから、農薬散布を行っていない。

このため本公園では、カシノナガキクイムシによるナラ枯れの拡散を抑えるため、粘着シートを活用し除去・捕殺する方法をとっている。

取り組みの 概要

【防除対象場所】 兵庫県立一庫公園内自然観察の森

・面積 48.2ha

◎防除方法の検討

- ・公園外の地域からのナラ枯れの発生の拡散により、クヌギ、コナラ、アベマキ等にカシノナガキクイムシによるナラ枯れが発生した。
- ・学識者や樹木医、行政担当者等による「一庫公園カシナガ被害防止対策協議会」において、農薬を使用しない方法で対処すること、一庫公園から出来る限り他の地域へ被害を拡散させないことを基本方針とする対策に重点を置いて検討した。
- ・既に穿入された樹木からカシノナガキクイムシを飛散させず、他の樹へ拡散させない対策として、粘着シート被覆による防除を実施している。

◎被害木の選別と粘着シートによる被覆

- ・平成25年度に被害木の調査を実施し、カシノナガキクイムシ穿入の疑いのある木に次年度処置のマークを付した。
- ・平成26年の6月～7月に、産卵のためにカシノナガキクイムシが穿入している部位（地上から約1.8mの高さ）に粘着シートを巻き付けた。

◎捕殺

- ・卵が孵化して成虫になり、他の樹に移る9月下旬まで粘着シートを設置した。
- ・虫の活動の止まる10月に入ってから剥がして捕殺を確認し、他の樹への侵入を防止した。
- ・これらの一連の作業は、活動団体と管理事務所が連携して実施した。



兵庫県立一庫公園全景